



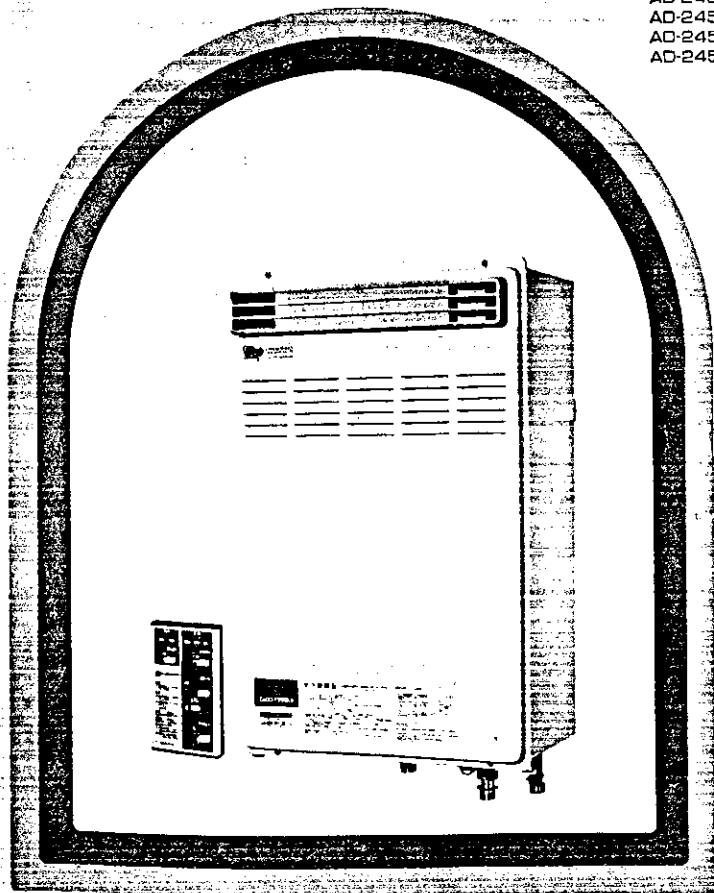
大阪ガス

# ガス給湯暖房機 シンプルシステム (エックスマークII)

取扱説明書 44-810・816・817型  
44-811・812・813型

保証書付

型式名 AD-245RFA-B  
AD-245RFA-C  
AD-245FFA-B  
AD-245RFB-B  
AD-245RFB-C  
AD-245FFB-B



●ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。  
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガス給湯暖房シンプルシステム  
(**エックスマークII**)を、お求めいただきまし  
て、ありがとうございます。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切  
に保存してください。

も く じ

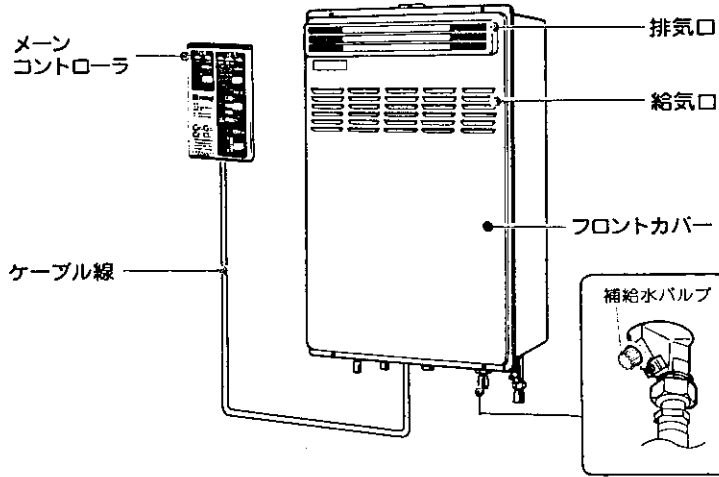
●各部の名称	1
●特に注意していただきたいこと	4
●使用手順	9
●凍結防止について	18
●本製品と快適な暮らしのために	21
●安全装置が作動したときの処置方法	22
●日常の点検・手入れ	24
●故障・異常の見分け方と処置方法	25
●仕様	26
●外形寸法図	28
●長期間使用しない場合	30
●アフターサービスのお申し込み	31

# 各部の名称

## 外観・構造

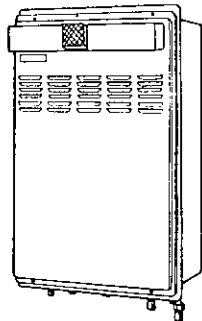
### ●屋外設置・MB標準設置型

- 44-810型(型式名AD-245RFB-B)
- 44-811型(型式名AD-245RFA-B)



### ●扉内設置型

- 44-818型(型式名AD-245RFB-C)
- 44-812型(型式名AD-245RFA-C)

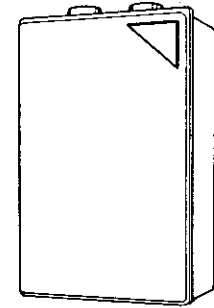


# 各部の名称②

## 外観・構造

### ●屋内設置型

- 44-817型(型式名AD-245FFB-B)
- 44-813型(型式名AD-245FFA-B)



### ●温調タイプ

- 44-810
- 44-818
- 44-817

### メインコントローラ



**暖房運転ランプ**  
暖房運転スイッチを「入」にすると点灯します。

**暖房燃焼ランプ**  
暖房のバーナが燃焼しているときに点灯します。

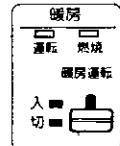
**給湯運転ランプ**  
給湯運転スイッチを「入」にすると点灯します。

**優先ランプ**  
メインコントローラ優先のときに点灯します。  
●消灯中はメインコントローラで湯温切替はできません。

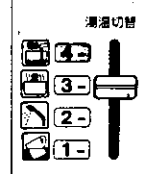
**給湯燃焼ランプ**  
お湯を使っているときに点灯します。

**給湯運転スイッチ**  
ご使用になるときに「入」にしてください。  
●点火・消火は、給湯栓の開閉で行なってください。

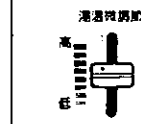
**湯温切替スイッチ**  
お使いになる湯温にセットしてください。



**暖房運転スイッチ**  
ご使用になるときに「入」にしてください。  
●ご使用になる放熱器、バスヒータなどのバルブを「全開」にしてください。



**湯温微調節つまみ**  
湯温切替スイッチの湯温をさらに微調節できます。



## 各部の名称③

- 定温出湯タイプ  
44-B11  
44-B12  
44-B13

メイン  
コントローラ



### 暖房運転ランプ

暖房運転スイッチを「入」にすると点灯します。

### 暖房燃烧ランプ

暖房のバーナが燃烧しているときに点灯します。

### 暖房

運転 燃烧

暖房運転  
入 切

### 給湯

運転 燃烧

給湯運転  
入 切

### 暖房運転スイッチ

ご使用になるときに「入」にしてください。  
●ご使用になる放熱器、風呂ヒータなどのバルブを「全開」にしてください。

### 給湯運転ランプ

給湯運転スイッチを「入」にすると点灯します。

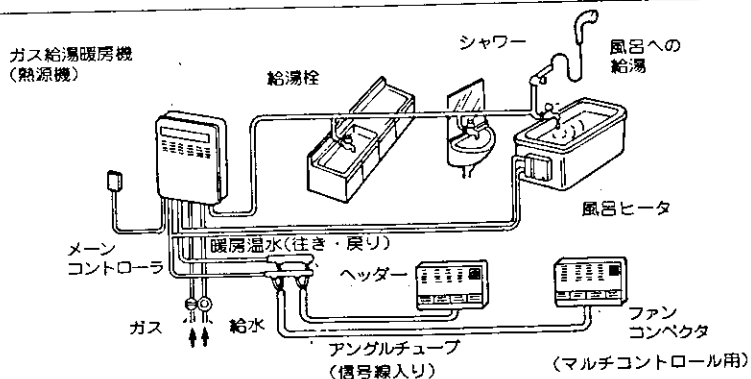
### 給湯燃烧ランプ

お湯を使っているときに点灯します。

### 給湯運転スイッチ

ご使用になるときに「入」にしてください。  
●点火・消火は、給湯栓の開閉で行なってください。

## ガス給湯暖房システム<イクスマARKII>(44-B10)の概要



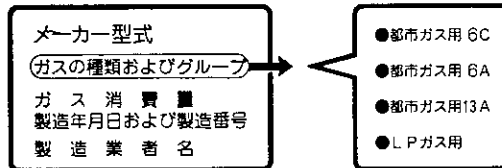
## 特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくためにこの項は必ずお読みください。

### 使用ガスについてのご注意

- ガスの種類を確かめてください。

給湯暖房機(以下熱源機)本体前面下部または、右側面下部にはってある銘板(ラベル)に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。



- ガスの種類には、都市ガスとLPGガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。
- 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

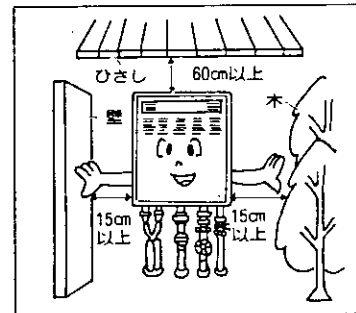
### 使用電源についてのご注意

- 電源の電圧と周波数を確かめてください。

この器具はAC100V、60Hz用です。器具の銘板に表示してある電源(電圧・周波数)とお宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。

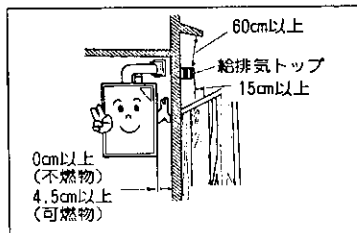
### 使用場所についてのご注意

- 壁、その他の可燃物から十分離れていない場所で使用してください。
- 屋外設置型は、屋内には絶対取り付けしないでください。排気ガスが充満して危険です。



## 特に注意していただきたいこと ②

- 屋内設置型は、屋内専用の熱源機です。屋外には絶対取り付けしないでください。



## 用途についてのご注意

- 台所・シャワー・洗面などの給湯および温水暖房、間接追いだし以外の用途には使用しないでください。

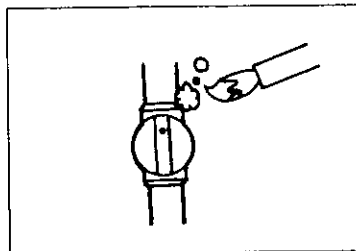
## 市販の補助用具使用についてのご注意

- この熱源機用の附属品・補助用具以外は使用しないでください。  
(不完全燃焼などの原因になります。)

## 使用上のご注意

### (1) ガス漏れ予防

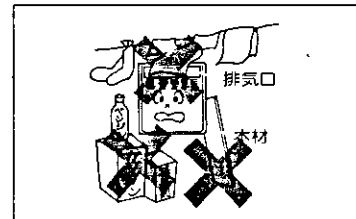
- 使用後は、燃焼確認ランプが消えたことを確かめてください。
- 長期間使用しないときは、必ず運転スイッチを切り、ガス元栓を閉めてください。
- 配管や熱源機との接続部からガスが漏れていないか、ときどき石けん水などで調べてください。



## 特に注意していただきたいこと ③

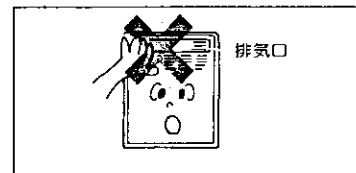
### (2) 火災予防

- 熱源機の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。  
特に、排気口は洗たく物などでおおわないでください。



### (3) 火傷にご注意

- 使用中および消火直後は、熱源機の排気口や、排気筒が高温になっていますので、絶対に手を触れないでください。

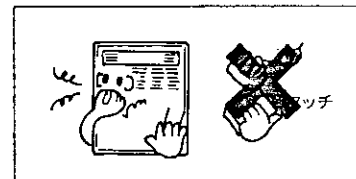


### (4) ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス元栓を閉め、お買い求めの大阪ガスサービスショップ、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。



- 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、換気扇その他電気器具に触れたり(スイッチの入、切や電源プラグの抜き差しなど)しないでください。火や火花で引火し爆発事故をおこすことがあります。



## 特に注意していただきたいこと④

### (5) 凍結についてのご注意

- 冬期は、寒冷地だけでなく、暖かい地方でも急な寒波のため熱源機及び配管内の水が凍って、熱源機または配管を破損することがあります。  
詳しくは、18ページ～21ページの「凍結防止について」をお読みください。

### (6) 異常時の処置

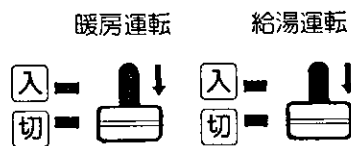
- 万一、熱源機が異常燃焼（バーナ着火時や使用中に“ゴー”と音のするような燃焼）をおこしたときや、緊急の場合には、下図の処置をし、お買い求めの大阪ガスサービスショップまたはもよりの大阪ガス支社に連絡してください。

1. 給湯栓を閉める。



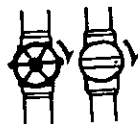
お湯の使用場所

2. 運転スイッチを「切」にする。



メインコントローラ

3. 給水元栓  
ガス元栓を閉める。



器具の下部

4. 暖房使用時は、すべてのファンコンベクタの運転つまみを「停止」の位置に戻してください。

### (7) たまった水は飲まないでください

- 熱源機内に長時間たまった水は飲用または調理に用いないでください。

### (8) アース(接地)のご確認

ご使用前に、次のいずれかの方法で正しくアースされていることを必ずお確かめください。

- 分電盤内のアース端子へアース線が接続されているか。
- アース棒を使用しているか。

## 特に注意していただきたいこと⑤

- コンセントのアース端子へアース線が接続されているか。  
〔ご注意〕漏電しゃ断器付ブレーカから本体に配線されていることを確認してください。

### ポンプの固着予防について

- 暖房シーズンオフ時に、給湯をお使いになると温水循環用ポンプが約30秒運転することがありますが、ポンプの固着予防のため異常ではありません。

### 日常の点検・手入れ

- 日常の点検・手入れは、必ず行なってください。  
(詳しくは24ページをお読みください。)
- 故障または破損したと思われる場合は、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社・サービスステーションにご相談ください。不完全な修理は危険です。

### 熱源機の設置について

(詳しくは工事説明書をお読みください。)

- 熱源機の設置は、お買い求めの大阪ガスサービスショップ、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。
- 安全な位置に正しく設置されているか確認してください。

# 使用手順

## 点火前の準備と確認

1. 給水元栓を全開にしてください。
2. 給湯栓を開け、水の出ることを確認してから開めてください。
3. ガス元栓を全開にしてください。
4. 器具用のブレーカを「入」にしてください。



器具の下部



お湯の使用場所



器具の下部



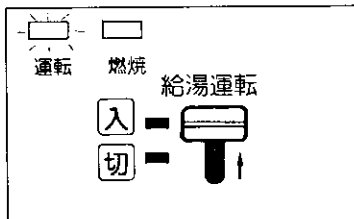
屋内の分電盤  
ブレーカ

## 給湯の使い方

### 点火

#### ① メーンコントローラ給湯運転スイッチを「入」にします

(給湯運転ランプ(緑色)が点灯します。)



#### ② 給湯栓を開けます

●バーナに点火し、お湯が出ます。

(点火と同時に、給湯燃焼ランプ(赤色)が点灯します。)

[注] 給湯燃焼ランプ(赤色)が点滅しているときは、お湯になりません。

このような場合は、いったん給湯栓を閉め、給湯運転スイッチを「切」にし再び「入」にしてください。給湯栓を開け、約7秒以内に点火しなかった場合は、自動的にガスをストップし、給湯燃焼ランプ(赤色)の点滅動作でお知らせします。



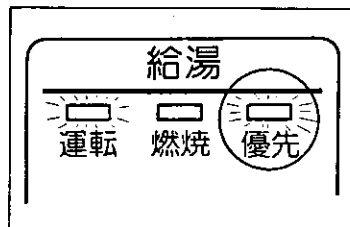
給湯栓

# 使用手順②

湯温調節・給湯 (44・B10・B1B・B17) 湯調タイプの場合

#### ① 優先ランプの確認

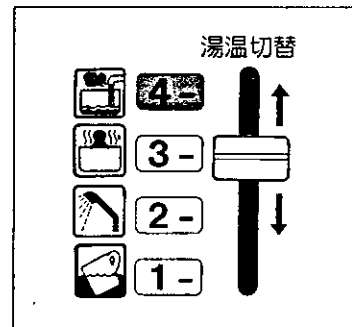
点灯していることを確認してください。



#### ② 湯温切替スイッチを切り替えます

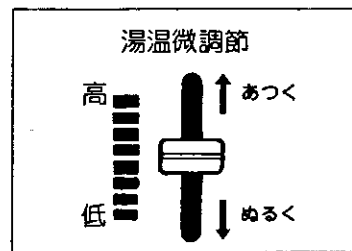
- お使いになる湯温にセットしてください。(季節により多少変化することがあります。)
- 湯温切替スイッチは、中間の位置にセットしても湯温は切り替わりません。

数字	絵文字	湯温(目安)
4		高温 約75℃
3		やや熱め 約50℃
2		シャワーなど 約43℃
1		ぬるま湯 約37℃



#### ③ 湯温微調節つまみを調節します

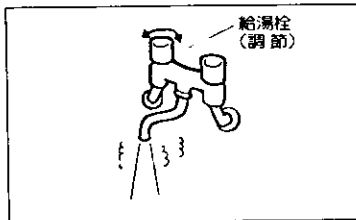
- 湯温をさらに微調節されるときに操作してください。1目盛で約1~2℃の温度差があります。



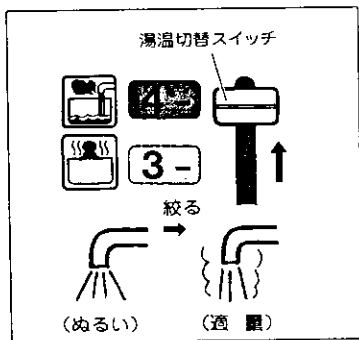
## 使用手順③

### ④ 給湯量を調節します

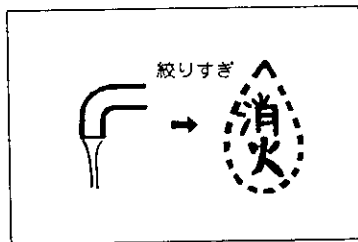
- 湯量の調節は、水道を使用される要領で給湯栓を調節してお使いください。



- 湯温切替スイッチを「4」または「3」にして湯量を多く出しますと湯温がぬるくなります。このような場合には、湯量を絞ってお使いください。



- 湯量を約2ℓ/分以下に絞りますと、メインバーナの火が消えるようになっています。

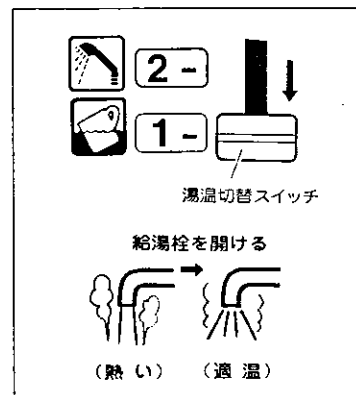


## 使用手順④

### 夏期には

(44-810・818・817) 温調タイプの場合

- 水温が30℃近くになりますと、湯温切替スイッチを「1」または「2」にセットしても湯量が少ない場合には、湯温が熱くなります。このような場合は、湯量を多く出してお使いください。

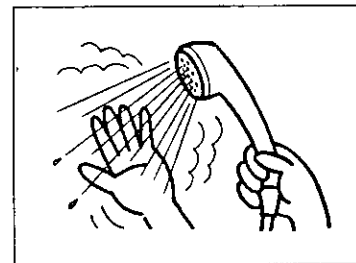


[注]

- 給湯栓で湯量を調節しますと、水の中の空気が分離して、気ほうとなり、湯が白くなることがありますが、空気ですので何ら心配はありません。
- 2ヵ所で同時使用されますと、ぬるくなったり、湯量が少なくなることがあります。特にシャワー使用中は同時使用はやめてください。

- シャワーをご使用のときは、いきなり体や頭にはかけずに、手で湯温を確認してからお使いください。

(シャワーをお使いになってお湯を止めた直後、再度お使いになるときに、湯量を急に絞ったときには、一瞬熱い湯が出る場合があります。)

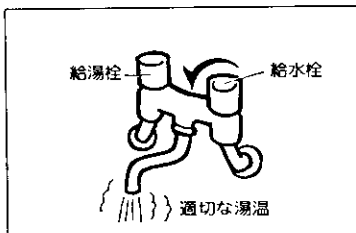


## 使用手順⑥

湯温調節 (44-B11・B12・B13) 定温出湯タイプの場合

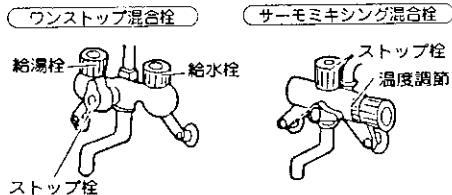
### 混合栓で湯温を調節します

- 給水栓を徐々に開き、適切な出湯温度になるように調節してください。
- 湯量の調節は、水道を使用される要領で給湯栓を調節してお使いください。

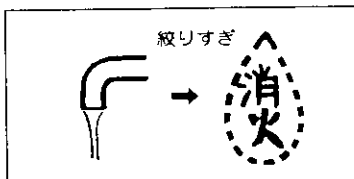


[注]この器具は高温出湯タイプ(約60℃)になっていますので必ず混合栓で湯温を調節してご使用ください。

- 混合栓にはいろいろな種類がありますが右のようなタイプが使いやすいのでおすすめします。

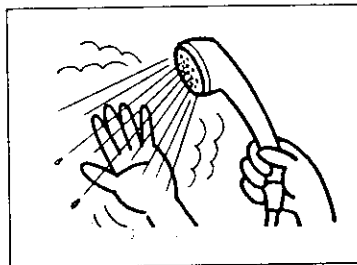


- 熱源機からの湯量を約2ℓ/分以下に絞りますと、メインバーナの火が消えるようになっていきます。



- シャワーをご使用のときは、いきなり体や頭にはかけずに、手で湯温を確認してからお使いください。

(シャワーをお使いになってお湯を止めた直後、再度お使いになるときや、湯量を急に絞ったときには、一瞬熱い湯が出ることがあります)



## 使用手順⑥

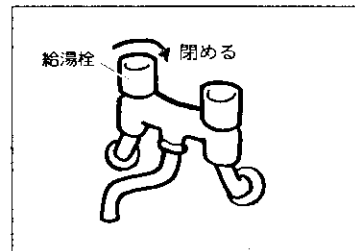
[注]

- 給湯栓で湯量を調節しますと、水の中の空気が分離して、気泡となり、湯が白くなることがありますが、空気ですので何ら心配はありません。
- 2ヵ所で同時使用されますと、ぬるくなったり、湯量が少なくなることがあります。特にシャワー使用中は同時使用はやめてください。
- 冬期など水温が低い時、高温がとれない場合は、給湯栓を絞ってお使いください。

### 消火

#### ① 給湯栓を閉めます

- お湯が止まり、バーナが消火し、給湯燃焼ランプ(赤色)が消えます。



お出かけや、おやすみの際など

#### ② 長時間使用しない場合

- 給湯運転スイッチを「切」にし、ガス元栓を閉めてください。(給湯運転ランプ(緑色)が消えます。)

1. 給湯運転スイッチを「切」にする。



メインコントローラ

2. ガス元栓を閉める。



器具の下部



## 使用手順①

### 暖房の使い方

#### 点火

#### ① バルブを全開にします

●暖房配管またはご使用になるファンコンベクタ、風呂ヒータなどのバルブを全開にしてください。

ファンコンベクタに電動弁を使用している場合は、ファンコンベクタの切替スイッチを「ON」にすると自動的に「開」になります。

#### ② メーンコントローラ暖房運転スイッチを「入」にします

●暖房運転スイッチを「入」にしてください。

●暖房運転ランプ(緑色)が点灯し、自動的に熱源機が運転に入り、バーナに着火し暖房燃焼ランプ(赤色)が点灯します。

●ご使用になるファンコンベクタの運転つまみを「運転」もしくは「強」か「弱」にお合わせください。しばらくしてファンが回り、暖かい空気が出て室内を暖房します。

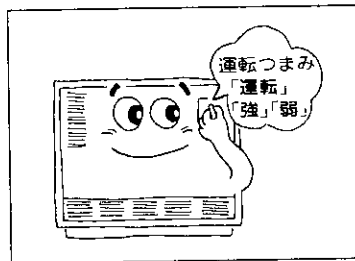
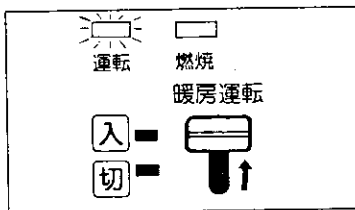
(注)ファンコンベクタの運転つまみを急に「停止」にすると、「コトン」という音がすることがあります。

運転つまみはゆっくりと操作してください。

※マルチコントロールシステムの場合

①暖房運転スイッチを「切」のまま、ご使用になるファンコンベクタの運転つまみを「運転」もしくは「強」か「弱」にお合わせください。自動的に熱源機が運転に入り、バーナに着火しファンコンベクタの運転ランプが点灯します。

②この時、メーンコントローラの暖房運転ランプ(緑色)、暖房燃焼ランプ(赤色)が同時に点灯します。



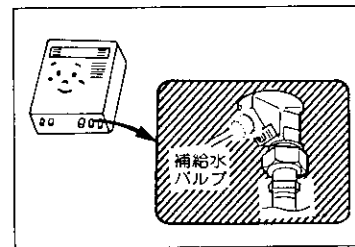
## 使用手順⑧

(注)

●運転開始以降しばらくしますと給湯の使用状態や端末機器の使用状態によりバーナの点火・消火が始まり、暖房燃焼ランプ(赤色)、ファンコンベクタの運転ランプが、それとともなって、点灯、消灯を繰り返すことがあります。

●暖房にご使用になる端末機器は、用途、タイプによって操作方法が若干変わることがありますので、それぞれに付属の取扱説明書もあわせてお読みください。

●メーンコントローラの暖房運転ランプ(緑色)と暖房燃焼ランプ(赤色)が点滅しているときは、暖房運転スイッチを「切」にし、補給水タンクに水を補給してください。補給水タンクの水は蒸発しますので約1か月に1度ぐらい水を補給してください。



●熱源機底面の補給水バルブを開け、オーバーフロー(溢水口)から水が流れ出すまで補給してください。

●各ファンコンベクタの運転ランプまたは暖房燃焼ランプ(赤色)が点滅しているときは燃焼していません。このような場合は、いったんメーンコントローラの運転スイッチを「切」にし、しばらく待ってから暖房運転スイッチを「入」にしてください。

(暖房運転スイッチを「入」にして、約10秒以内に点火しなかった場合は、自動的にガスをストップし、暖房燃焼ランプ(赤色)の点滅動作でお知らせします。)

●室温が高い場合には、暖房運転スイッチを「入」にしても暖房燃焼ランプ(赤色)が点灯しない場合があります。

●ファンコンベクタの空気抜き弁、水抜き栓は絶対に開けないでください。  
(特に2階にファンコンベクタを設置されている場合は、空気抜きを行ったり、加湿用の水をファンコンベクタから取ると、暖房配管の水が抜けてしまい、運転できなくなりますから注意してください。この場合は暖房運転ランプ(緑色)、と暖房燃焼ランプ(赤色)が点滅します。)

## 使用手順⑨

### 消火

#### ① 暖房運転スイッチを「切」にします

- バーナが消火し、暖房燃焼ランプ(赤色)・暖房運転ランプ(緑色)が消えます。



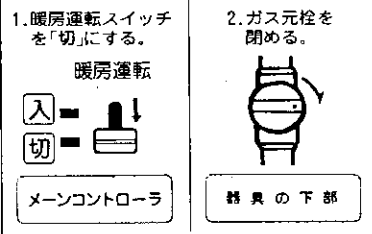
※マルチコントロールシステムの場合

- すべてのファンコンベクタの運転つまみを「停止」の位置に戻してください。運転ランプが消え、同時にメインコントローラの暖房運転ランプ(緑色)、暖房燃焼ランプ(赤色)が消えます。

※お出かけや、おやすみの際など

#### ② 長時間使用しない場合

- 暖房運転スイッチを「切」にし、ガス元栓を閉めてください。(暖房運転ランプ(緑色)が消えます。)



## 停電後の使用方法

- 停電すると自動的にガスが止まり、給湯・暖房とも燃焼が停止します。
- 再通電したときは、給湯・暖房とも自動的に復帰し、再燃焼します。
- 長時間停電したときは、念のため給湯栓を開けて、給湯運転スイッチ・暖房運転スイッチを「切」にしてください。
- 再通電したときは、9ページおよび15ページの「点火」に従って操作してください。

## 断水の場合

- 断水時は給湯栓を開め、メインコントローラの運転スイッチを「切」にしておいてください。
- 再通水したときは、9ページおよび15ページの「点火」に従って操作してください。

## 凍結防止について

(暖かい地域でご使用のお客様も必ずお読みください。)



- 凍結すると熱源機や給湯配管が破損して、水漏れをおこしたり、熱源機が異常(空だきなど)をおこす危険があります。
- 凍結による修理は有料です。

## 凍結防止方法

### 給湯

#### ① 凍結予防ヒータによる方法

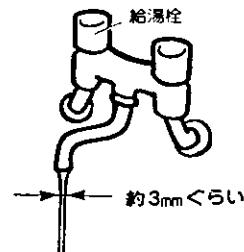
- この熱源機には、外気温が0℃近くになるとサーモスタットの働きで自動的に熱源機内を保温する凍結予防ヒータを組み込んでいます。
- 凍結予防ヒータは分電盤のブレーカが「切」になっていると作動しません。絶対にブレーカを「切」にしないでください。



- 凍結予防ヒータは、メインコントローラ運転スイッチの「入・切」に関係なく作動します。
- [注]外気温が極端に低く(庭のたまり水などが凍るおそれのある日)なりますと、この凍結予防ヒータだけでは効果ありません。このような場合は、次の②または③の方法を行なってください。

#### ② 給湯栓から水を流す方法

- ガス元栓を開め、メインコントローラ運転スイッチを「切」にして、お風呂場の給湯栓を開け、1分間に約200cc(牛乳びん1本ぐらい)の水を浴そうに流し込んでください。
- 流量が不安定なことがありますので、念のため約30分後にもう一度流量をお確かめください。



## 凍結防止について②

### ④ 水抜きによる方法

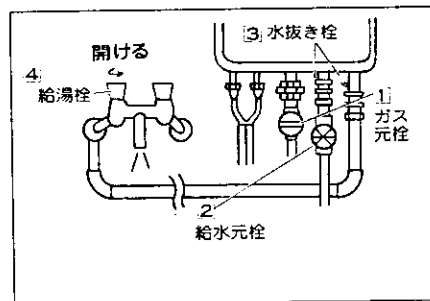
(長期間不在の場合、または非常に冷えこみの厳しいとき。)

次の順序で行なってください。

- (1) 運転スイッチを「切」にし、ガス元栓①を閉める。
- (2) 給水元栓②をしっかりと閉める。
- (3) 水抜き栓③を開ける。(2本)
- (4) 給湯栓④を全開にする。

●給湯栓④と、水抜き栓③から水が抜けるのを確かめください。

●次にお使いになるまで、このままにしておいてください。



### <水抜き後の使用方法>

- (1) 水抜き栓③を元通り、しっかりと閉める。(2本)
- (2) ガス元栓①を閉めた状態、および運転スイッチを「切」にした状態で給水元栓②を開け、給湯栓④から水が出るのを確かめ、のち、給湯栓④を閉めてください。
- (3) 再使用するときは、9ページおよび15ページの「**点火**」に従って操作してください。

### [注]

●もし凍結して水が出ないときは、使用をひかえ(給湯運転スイッチを「切」にした状態で)、給湯栓④を開け、水が出るまで待ってからお使いください。

## 凍結防止について③

### 暖房

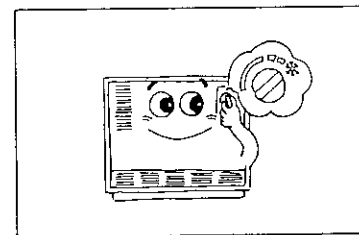
●冬季外気温が0℃以下になりますと熱源機や温水回路内の水が凍結し、破損することがあります。  
配管や熱源機が破損しますと、水漏れなどで多大な被害を引き起こしますので、必ず不凍液を注入してください。暖房水に不凍液を使用することで凍結が防止できます。

●不凍液の濃度が下がってきますと、凍結防止の効果が弱くなってきますので、厳冬期には以下の操作をお願いします。

(1) 暖房運転スイッチを「切」にしてください。

(2) 各部屋のすべてのファンコンベクタの操作つまみを「※」にしてください。

(詳細については、ファンコンベクタの「取扱説明書」に従ってください。)



(注)分電盤のブレーカは「切」にしないでください。気温が低いときは、自動的にポンプが回り凍結を防止します。

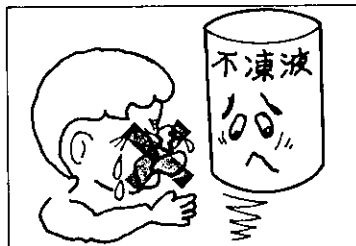
### ●不凍液について

- 不凍液は大阪ガス指定のものをご使用ください。指定以外の不凍液はシステムに影響を与える場合がありますのでご使用にならないでください。
- 不凍液濃度は地域、設置場所、気温などにより異なります。めやすとしてはファンコンベクタ1台の場合は2缶です。(1缶は1ℓです。)
- 適正濃度を保つため1年に一度は暖房水全体を入れかえ不凍液を新たに注入する必要があります。不明な点はもよりの大阪ガスサービスショップもしくは、大阪ガス支社、サービスステーションまでご連絡ください。

## 凍結防止について④

- 不凍液の取扱い
- 幼児の手の届くところに置かないでください。
- 万一飲み込んだ場合には吐かせ、また皮膚についたり目に入った場合は、すぐ水洗いするなどの応急処置を行なって医師に直ちに相談してください。
- 他の不凍液と絶対に併用しないでください。

- 一度開けた缶は残さず使いきってください。



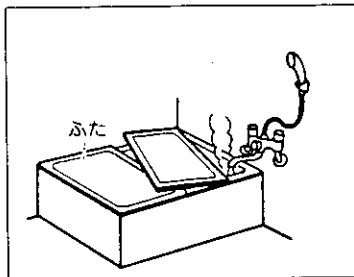
### 凍結したとき

- 凍結した場合、ガス元栓・給水元栓を開めてください。凍結したまま使われますと器具に異常が生じる場合があります。
- 凍結が溶けたあと、水漏れがないのを確認のうえご使用ください。
- 器具や配管が破損しますと、高額な修理費用がかかる場合があります。(有料)

## 本製品と快適な暮らしのために

### 風呂への給湯・沸き上げは……

- 給湯で湯を入れられる場合は、入浴される湯温より少し熱めで給湯し、浴そうにはふたをして、放熱ロスを防いでください。
- ご家族全員が続けて入れる頃に浴そうに給湯するか、もしくは沸き上がるようにすると経済的です。



## 安全装置が作動したときの処置方法

### 処置について

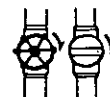
- 点火しなかったり、ご使用中にバーナが消火したときは、25ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」に従ってください。
- 次の安全装置が働いた場合には、その説明に従い再点火のできる安全装置は説明どおりに再点火して使用してください。また、それ以外の安全装置の場合は、運転スイッチを「切」にし、ガス元栓・給水元栓を開めてからお買い求めの大阪ガスサービスショップまたはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

1. 運転スイッチを「切」にする。



メインコントローラ

2. 給水元栓・ガス元栓を開める。



器具の下部

3. 大阪ガスサービスショップまたはもよりの大阪ガス支社へ



連絡

### 給湯バーナ安全装置

- 給湯バーナの炎が消えたときは、安全装置が働いて自動的にガスが止まり、メインコントローラの給湯燃焼ランプ(赤色)の点滅でお知らせします。このような場合は、9ページの方法で再点火してください。

### 暖房バーナ安全装置

- 暖房バーナの炎が消えたときは、安全装置が働いて自動的にガスが止まり、ファンコンベクタの運転ランプ及び暖房燃焼ランプ(赤色)の点滅でお知らせします。このような場合は、15ページの方法で再点火してください。

### 空だき防止装置(暖房)

- 暖房回路の水が減りますと水位スイッチが作動して自動的に運転が止まり、暖房運転ランプ(緑色)と暖房燃焼ランプ(赤色)の点滅でお知らせします。このような場合は、16ページの方法で補給水タンクに補給してください。

## 安全装置が作動したときの処置方法②

### 空だき安全装置(給湯・暖房)

- 万一、バーナの火が消えずに、湯温が異常温度上昇したときは、ガスを自動的に停止します。

### 過熱防止装置

- 万一、熱源機が異常温度上昇したときは、ガスを自動的に停止します。

### 電流ヒューズ

- 過電流が流れますと、自動的に運転を停止します。

### 過圧逃し弁(給湯)

- 熱源機内の水圧が異常に上昇したときに作動し、熱源機内の圧力を下げて、熱源機の損傷を防止します。

### 停電時安全装置

- 使用中に停電になると停電用安全回路が作動し、ガスを自動的に停止し、運転が止まります。  
停電後の使用方法については17ページをお読みください。

### ファン電流検知装置

- 非気のファンモーターに電流が供給されていない場合にはファン電流検知装置により、ガスを自動的に停止します。

### 凍結予防ヒータ(給湯)

- 給湯回路の凍結を予防するために、低温になると働きます。  
詳しくは、18ページをお読みください。

### 水流スイッチ

- 給湯量を約2ℓ/分以下に絞りますと、ガスを自動的に停止します。

## 日常の点検・手入れ

点検・手入れの前には、必ず給水元栓とガス元栓を閉め、メインコントローラの給湯運転スイッチ・暖房運転スイッチおよび分電盤のブレーカを「切」にして、熱源機が冷えてから行なってください。

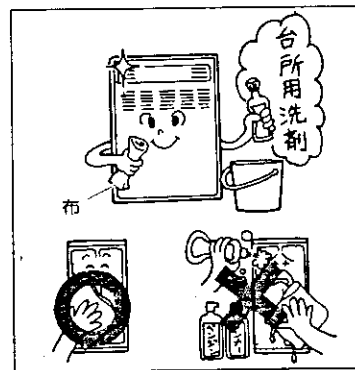
### 点 検

- 熱源機および配管よりガス漏れ、または水漏れはありませんか。  
(ガス漏れは、配管接続部に石けん水などを付けて調べてください。)
- 熱源機が古くなると熱交換器やバーナにサビやスス、ほこり等がたまっていきます。また取り付け場所によりバーナに「くも」が巣をはることがあります。このような場合不完全燃焼を起すことがあり、ときどきご使用中に異常(異常音、排気に不快な臭い、目にしみる等)がないか確認してください。異常に気づかれた場合は、使用を中止し、ガスの元栓を閉めてお買求めの大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社へご連絡ください。
- 熱源機の外観に異常は見られませんか。
- 熱源機のまわりに燃えやすいものはありませんか。

### お手入れ

- 熱源機の表面が汚れたときは、布またはスポンジに台所用洗剤(中性洗剤)をつけてふき取ってください。シンナー・ベンジンなどではふかないでください。
- メインコントローラ部の表面が汚れたときには、水を付けた布をかたく絞って、軽くふき取ってください。洗剤・シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。

[注] メインコントローラの内部には電気部品が入っていますので、ぬらさないようにしてください。



### 定期点検のおすすめ

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。お買求めの大阪ガスサービスショップまたはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。

# 故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中に、ふだんと違った状態になったときや不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちにご使用を中止され、十分な点検をしてください。

現象	原因							処置方法	お	大
	原因	原因	原因	原因	原因	原因	原因			
プレーカが「入」になっていない	○							プレーカを「入」にする	*	大阪ガス
ガス元栓の開き不十分	△	△	○	△			△	△	ガス元栓を全開にする	*
配管内に空気が残っている	△	△					△		点火操作を繰り返す	*
ガス圧が適切でない	△	△	△	△			△	△	他のガス器具も同様の場合は点検を依頼する(他に原因がないとき)	*
給水元栓の開き不十分	○	△		△					給湯控をいったん閉めてから給水元栓を全開にする	*
水圧が適切でない	○	△		△					点検を依頼する(他に原因がないとき)	*
水ストレーナの詰まり	△	△		△					詰まり除去または依頼する	*
断水している	○								給湯使用をいったん中止する	*
凍結している	○								解冻するまで使用を中止する	*
バーナ炎口の詰まり	△	△	△				△	△	点検を依頼する	*
空気吸込口の詰まり	△	△					△		点検を依頼する	*
熱交換器の目詰まり	△	△		△					給湯控を全開にする	*
給湯控の開き不足	△	△							点検を依頼する(他に原因がないとき)	*
ノズルの詰まり	△	△					△	△	点検を依頼する(度々作動する場合)	*
安全装置が作動した	○	○							点検を依頼する	*
水流スイッチの故障	△	△	△	○					点検・修理・部品交換を依頼する(他に原因がないとき)	*
電気部品の故障	○	△	△		○	○	○		点検を依頼する	*
ポンプが回転しない							○		点検を依頼する	*
水ストレーナ またはポンプのごみ詰まり							○		点検を依頼する	*
補給水タンクの水不足							○		補給水タンクへ水を補給する	*
燃焼用ファンが回転しない	○							○	点検を依頼する	*

処置方法や原因のわからないときは、お買い求めの大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社へご連絡ください。

# 仕様

器 種 名		ガス給湯暖房機		
型 式 名	AD-245RFA-B AD-245RFB-B	AD-245RFA-C AD-245RFB-C	AD-245FFA-B AD-245FFB-B	
品 名	44-B11 44-B10	44-B12 44-B18	44-B13 44-B17	
種 類	給湯方式	先止め式		
	暖房方式	温水循環方式		
設 置 方 式	給排気方式	屋外強制排気方式	強制給排気方式	
	設置方式	屋外設置方式		屋内設置方式
点 火 方 式	電子イグナイタによる連続放電点火式			
着 火 方 式	給 湯	ダイレクト着火		
	暖 房	ダイレクト着火		
外 形 寸 法	本 体	高さ750mm×幅480mm×奥行267mm		
	メインコントローラ	高さ160mm×幅90mm×奥行36mm		
重 量	本 体	36kg(運転時40kg)		37kg(運転時41kg)
	メインコントローラ	0.2kg		
水 圧	使用水圧	1kg/cm <sup>2</sup> 以上		
	作動水圧	0.2kg/cm <sup>2</sup>		
最 低 作 動 水 量	給 湯	2.5ℓ/分		
	暖 房	0ℓ/分以上(給切り使用可)		
ポンプ機外揚程	4.0mHz <sup>2</sup> O以上(6.5ℓ/分のとき)			
温 度 制 御 方 式	給 湯	電子式ガス比例制御方式		
	暖 房	電子式ガス比例制御およびHi-Lo-OFF制御方式(同時使用時はON-OFF制御)		
温度調節	給 湯	定温出射タイプ	約60℃(本体内で約50℃・55℃・60℃・65℃・70℃に変更可)	
	暖 房	温調タイプ	1:約37℃ 2:約43℃ 3:約50℃ 4:約75℃	
給 湯 量 制 御 方 式	定温出湯タイプ: 最大約8ℓ/分の定流量弁方式			
	温調タイプ: 最大約10ℓ/分の定流量弁方式			
排気ファン制御方式	給 湯	負荷によるHi-Lo制御		
	暖 房	負荷によるHi-Lo-OFF制御		
安 全 装 置	同 時			
	給湯バーナ安全装置・暖房バーナ安全装置・空だき防止装置・空だき安全装置・過熱防止装置・電流ヒューズ・過圧逃し弁・停電時安全装置・ファン電流検知装置・凍結予防ヒータ・水流スイッチ・誘導雷保護装置			
消 費 電 力	最大130W		最大140W	
	凍結予防運転作動時: 132W(〜10℃)		132W(〜10℃)	
接 続	ガ ス	P T <sup>3/4</sup> オネジ(20A)		
	給 水 ・ 給 湯	給水・給湯配管用20Aソルダークランプ手附属(P F <sup>3/4</sup> )		
	暖 房	暖房配管用15Aソルダークランプ手附属(P F <sup>3/4</sup> )		
	オーバーフロー	P T <sup>1/2</sup> オネジ(15A)		
	電 気	定温出射タイプ	メインコントローラ〜本体 DC 24V 8心(うち7心使用)	
	温調タイプ	メインコントローラ〜本体 DC 24V 8心		
給排気接続口	給気口φ90 排気口φ80 最大延長7m 3曲り			
附 属 品	メインコントローラ(一式)・M5ねじ(3本)・配管用継手類(一式)			

## 仕様②

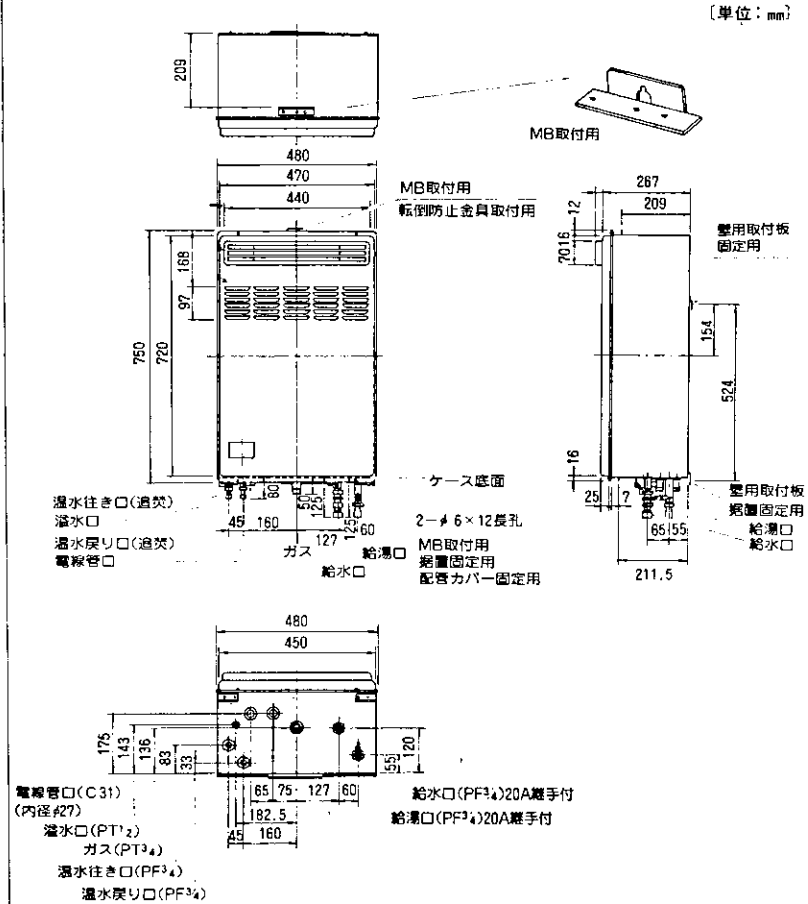
使用ガス 使用ガス グループ	型 式 名	1時間当たりのガス消費量(kcal/h)				標準出力(kcal/h)		
		全ガス 消費量	給湯ガス消費量		暖 房 ガス消費量	能力最大時		
			最 大	最 小		給 湯	暖 房	
都 市 ガ ス 用	4 B	/	/	/	/	/	/	
	4 C	/	/	/	/	/	/	
	5 C	/	/	/	/	/	/	
	6 A	AD-245RFB-B	40,000	30,100	7,000	12,200	24,000(16号)	10,000
	6 B	AD-245RFA-B	/	/	/	/	/	/
	6 C	AD-245RFA-C	36,000	30,100	8,000	12,000	24,000(16号)	9,600
	7 C	AD-245FFA-B	/	/	/	/	/	/
	1 2 A	/	/	/	/	/	/	/
	1 3 A	/	42,000	30,100	7,000	12,200	24,000(16号)	10,000
LPガス用		3.45 kg/h	2.51 kg/h	0.58 kg/h	1.0 kg/h	24,000(16号)	9,600	

●給湯能力の( )内は、水温+25°C上昇に換算した号数です。

●使用ガスグループ中の斜線部は生産していません。

## 外形寸法図

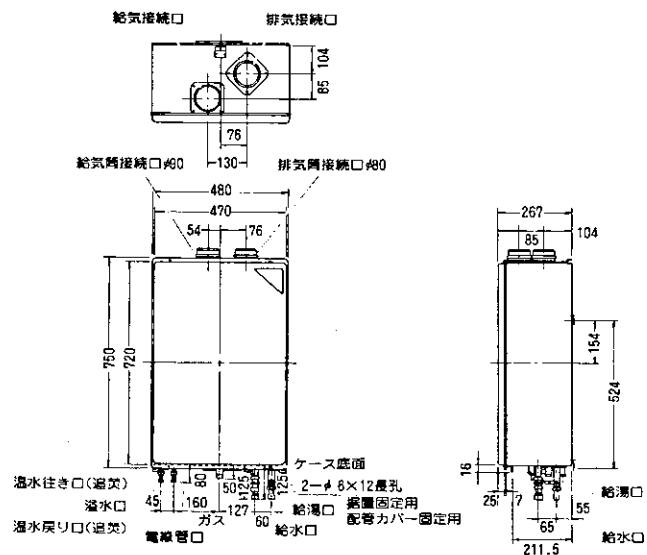
●屋外設置・MB標準設置型 (44-810型)  
(44-811型)



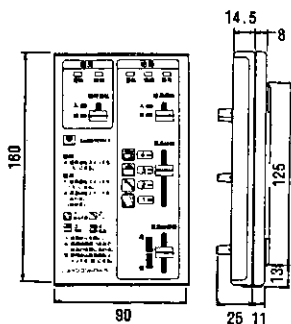
## 外形寸法図②

### ●屋内設置型 (44-813型) (44-817型)

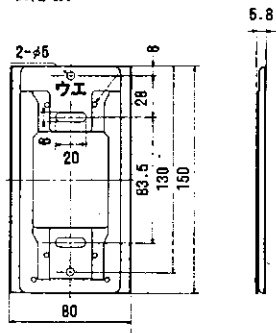
(単位: mm)



### ●メインコントローラ



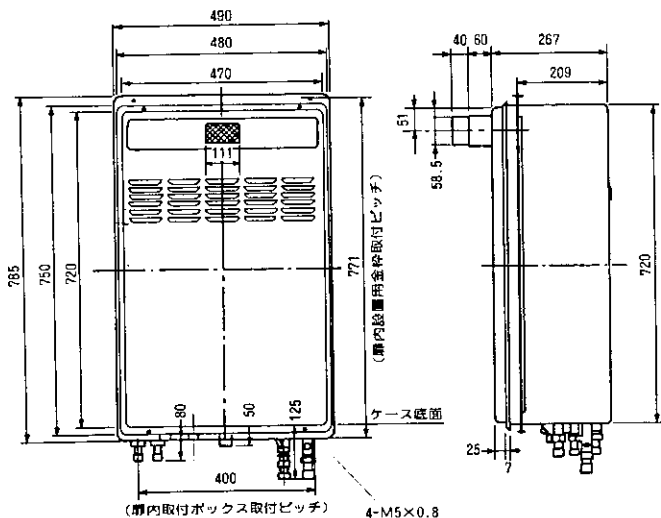
### ●メインコントローラ 取付板



## 外形寸法図③

### ●扉内設置型 (44-812型) (44-816型)

(単位: mm)



## 長期間使用しない場合

必ずガス元栓・給水元栓を閉め、メインコントローラの給湯運転スイッチ・暖房運転スイッチおよび分電盤のブレーカを「切」にして、下記の処置を行なってください。

### 給湯側

●19ページの③水抜きによる方法)を参照のうえ、水抜きを行なってください。

### 暖房側

●お買い求めの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社・サービスステーションへご連絡ください。

調査のうえ、必要とあれば大阪ガス指定の不凍液を入れさせていただきます。



# アフターサービスのお申し込み

## サービスのお申し込み

- 25ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないで買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをご知らせください。

(1) 品名……………ガス給湯暖房機<エックスMARKII> 〈例〉

(2) 品番……………前面左下部に貼付してあります。

(3) 現象……………(できるだけ詳しく)

(4) 道順……………(できるだけ詳しく)

<b>(N)44-810(U)</b>
大阪ガス株式会社
<b>744 810 03</b>
(AD-245RFB-B)

## 転居される場合

### ガスには都市ガス14種類およびLPガスの区分があります

- ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご相談ください。  
この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

## 保証書について

### この器具には保証書がついています

- このガス給湯暖房機は保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。  
保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

## おねがい

ガスくさいときはお部屋の元栓を閉め、窓を全開してから（火気に注意して）、大阪ガス支社・サービスステーションにご連絡ください。

## 本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社ガスビルサービスセンター	〒541 大阪市東区平野町5丁目1番	☎大阪 06 (202)2221
南支社	〒557 大阪市西成区玉出東2丁目9番41号	☎大阪 06 (652)0001
北支社	〒532 大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号	☎大阪 06 (301)1251
堺支社	〒590 堺市住吉南町2丁目2番19号	☎堺 0722(38)1131
北摂支社	〒569 高槻市藤の里町3番9番6号	☎高槻 0726(71)0361
阪神支社	〒662 西宮市和上町4番11号	☎西宮 0798(26)3101
東部支社	〒578 東大阪市結業2丁目3番17号	☎河内 0729(62)1131
京阪支社	〒573 枚方市西田宮町1番17号	☎枚方 0720(41)1251
神戸支社	〒650 神戸市中央区相生町5丁目13番10号	☎神戸 078(576)5231
京都支社	〒604 京都市中京区烏丸国池梅屋町358	☎京都 075(231)8151
奈良支社	〒631 奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈良 0742(44)1111
和歌山支社	〒640 和歌山市本町1丁目1-1	☎和歌山 0734(31)2481
姫路支社	〒670 姫路市神屋町4丁目8	☎姫路 0792(85)2221
東播支社	〒675 加古川市加古川町粟津2-9-1	☎加古川 0794(21)1801
豊岡支社	〒668 豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊岡 07962(3)2221
湖南支社	〒525 津市通分町字荒尾680の1	☎草津 0775(62)5311
彦根支社	〒522 彦根市大東町12番11号	☎彦根 0749(22)3131
長浜営業所	〒526 長浜市南兵衛町3番4号	☎長浜 0749(62)7171

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

大阪ガス株式会社